

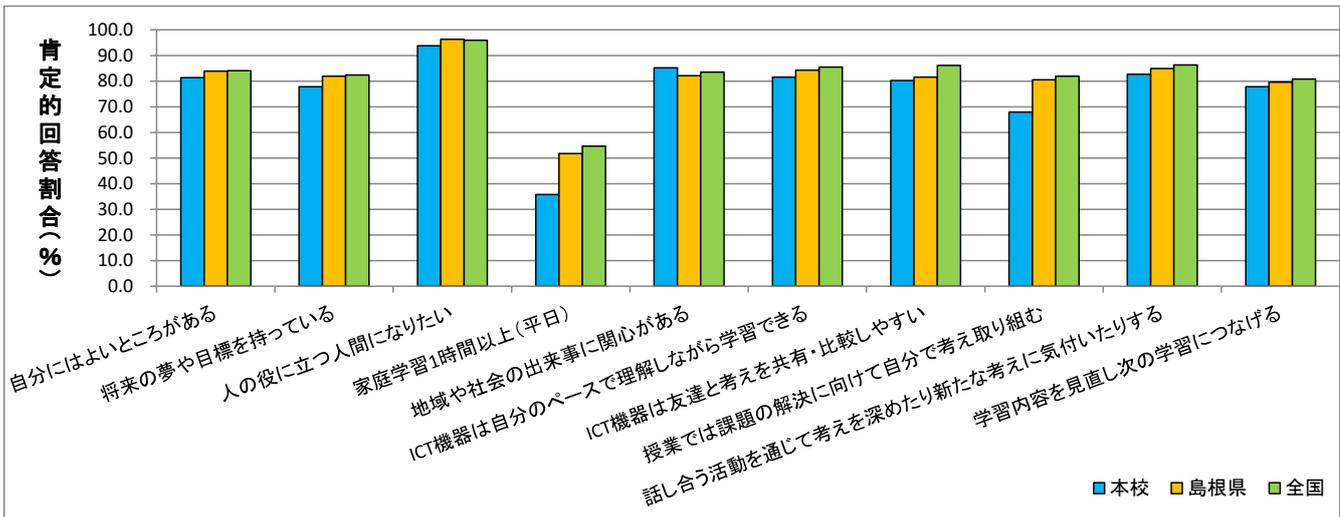
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○無回答が少なく、課題に向かうことができていること。 ●資料を活用し、自分の考えが伝わるよう工夫して表現すること。 ●文章の流れや構成をつかむこと。	・朝の帯時間(読書)の計画的な実施を行うこと。 ・新聞など、多様な資料に意図的に触れさせる授業づくりを行うこと。
算数	○無回答が少なく、課題に向かうことができていること。 ●球の直径の長さや立方体一辺の長さの関係をとらえ、立方体の体積を求めること。 ●表から必要な情報を取り出し、整理すること。	・朝の帯時間(計算)の計画的な実施を行うこと。 ・思考力や判断力、表現力の育成に重点を当てた授業づくりを行うこと。

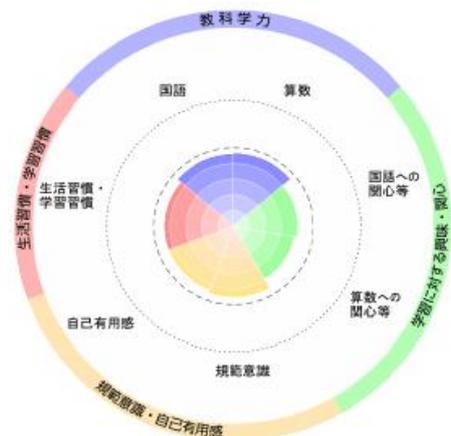
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○地域や社会に対して関心の高い児童が多い。 ●英語が苦手だったり、好きではない児童が多いこと。 ●家庭学習時間が少ないこと。	・英語専科が配置されているが、学校全体で授業づくりに努めること。 ・自学など、個に応じた家庭学習の工夫。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・地域の人と関わり合う体験的な学習活動の継続と充実
・「選ぶ」学びの実践的研究の推進

【受検者数】

81名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。